

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

| | | | |
|-------|----|-----|----|
| 加美南部小 | 学校 | 児童数 | 66 |
|-------|----|-----|----|

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 14.23 | 19.56 | 36.93 | 39.50 | 50.69 | 9.33 | 154.07 | 19.23 | 53.28 |
| 大阪市 | 15.70 | 19.17 | 33.01 | 38.63 | 45.42 | 9.52 | 148.43 | 20.76 | 51.54 |
| 全国 | 15.96 | 19.46 | 33.88 | 40.89 | 47.94 | 9.46 | 150.93 | 21.06 | 53.02 |
| 女子 | 13.21 | 17.34 | 36.74 | 36.56 | 37.21 | 10.08 | 135.40 | 12.18 | 51.68 |
| 大阪市 | 15.40 | 18.33 | 37.58 | 36.86 | 35.15 | 9.83 | 139.41 | 12.67 | 52.58 |
| 全国 | 15.61 | 18.36 | 38.15 | 38.70 | 36.85 | 9.77 | 142.34 | 13.11 | 53.97 |

結果の概要

・男子の「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」の平均値は、大阪市・全国を上回った。「反復横とび」においては、大阪市を上回った。大阪市・全国を上回っている項目が多くあり、体力合計点でも、大阪市・全国を上回ることができた。

・女子の「20mシャトルラン」の平均値は、大阪市・全国を上回った。その他の種目はすべてにおいて大阪市・全国を下回っている。そのため、体力合計点でも大阪市・全国を下回ってしまっている。

・児童質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的な回答では、男子が96.4%（全国93.4%、大阪市93.5%）女子が79.4%（全国85.8%、大阪市85.0%）だった。男子は運動好きな子どもが多く、その成果が出ているようである。反対に、運動がそこまで好きではない女子は体力合計点に結果があらわれている。

・1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合を見てみると、男子が15.0%、女子が16.1%存在することがわかった。また、1週間の総運動時間が420分以上という子は、男子69.6%・女子61.3%となっている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

○今年度も「かけあし週間」「なわとび週間」「なわとびチャレンジ」という体力向上企画を実施している。運動委員会の子もたちを中心に運動する機会を多く与えて、カードや賞状を授与することやあえて参加を強制しないことで子どもたち自身が楽しんで運動に取り組みたいという意欲を掻き立てよう取り組んだ。また、流行りの音楽を取り入れ、リズムにのせて行う工夫をした。運動行事を年間を通して継続的に企画してきたことで、運動が楽しいと思える子どもたちも増えてきたように感じる。

○全学年で歩いていく全校遠足（久宝寺緑地公園）では、たてわり班で遊びを設定し、オリエンテーションを行った。この行事一日が、すべて身体を使う日となり、全校遠足実施前から体力をつけていかないとけないという意識をもつようになった。6年生の卒業遠足では、本校から大阪市立クラフトパークに約30分歩いて向かった。往復で程よい距離感となり、適度な運動になった。

○課題として、1週間の総運動時間が60分未満の子どもたちが多数存在し、男子に比べて女子の割合が高いことだと感じる。420分以上が6割から7割はいることから考えると普段運動をしている子どもとそうでない子どもとの間で差が開いているのがわかる。次年度に向けては、引き続き、大阪市の「トップアスリート事業」や区役所の「スポーツ事業」を利用し、更なる普及・啓発を行っていこうと考えている。